



しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2016年5月12日号（通算第8号）



子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）



歩道を、80歳くらいのおじいさんが、よろよろと歩いていました。前から、小学生が自転車で走ってきました。「ちょっとあぶないな」と思って、おじいさんに「よけたほうがいいよ」と声をかけようと思いました。

でもその心配はいりませんでした。なぜかという、小学生が自転車を止めて、歩道のはじによって、待っていてくれたからです。

素晴らしい小学生だと感心しました。おじいさんが「ぼうやありがとう」とぺこりと頭を下げると、「転ばないように気を付けてね」と小学生が言いました。おじいさんは「はい！」と元気よく返事をしました。

この子の両親はきっといいお父さん、お母さんだろうな、担任も素晴らしい先生なんだろうなと思いました。

大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）

笑点で「18歳と81歳の違い」を「問題」にしました。最近、腹を抱えて大笑いするような面白いものがなく、何十年も日曜の夕方を楽しみに見続けている身としては少々不満でした。でも、次のような答えに久しぶりにほっこりしました。

（●ある老人の答え）

- 道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳。
- 恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳。
- 東京オリンピックに出たいと思うのが18歳、東京オリンピックまで生きて思うのが81歳。等々。
- 愛でつながっているのが18歳、愛は失せても情が移って離れられないのが81歳。
- 知識を覚えるのが苦手な18歳、知識を思い出すのが苦手な81歳。



学校の先生がたへ



何かあると「子どもに関係すること」だからと、学校現場に次々と「新しい教育課題」が押し寄せてくる。学校はもうパンクしてしまいそう（している？）である。

現在は、「これからの時代に求められる教師力」として、「学びの専門家としての教師（①各教科等の専門的知識や指導力・カリキュラムマネジメント、②アクティブ・ラーニングの視点から学習・指導を改善する力、③学習評価の在り方）」、「学び続ける教師（教師自身が時代や社会・環境の変化を的確に捉え学び、その時代の状況に応じた適切な学びを提供していく）」、「新たな課題やチーム学校に取り組める教師（特別支援・外国語指導・ICT活用等新たな課題に取り組める、チーム学校として協働して取り組める）」ことが求められている。これらのことについては、これまでと質の異なる求めなので、自己研修、校内研修・校内研究等によって、きちんと、具体的に応えたいものである。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

